

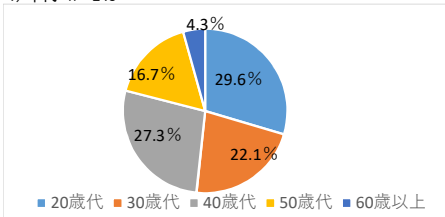
看護職のキャリア・アップ・ニーズ調査結果報告

対象者：病院5、老健9、特養17、訪問13施設に勤務する看護職696名

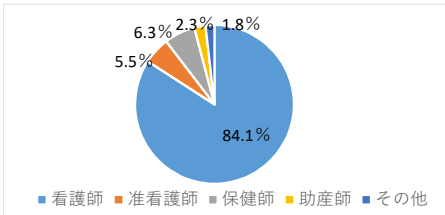
アンケート回収数349通(50.1%)、有効回答数(348通)

1. 基本属性

1) 年代 n=248



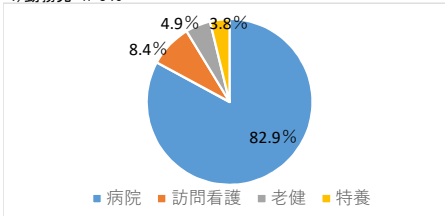
2) 看護職資格 n=347



3) 経年数

・15.58±10.71年

4) 勤務先 n=346



2. 資格取得のための研修参加経験 n=344

・参加した:23% ・参加していない:77.0%

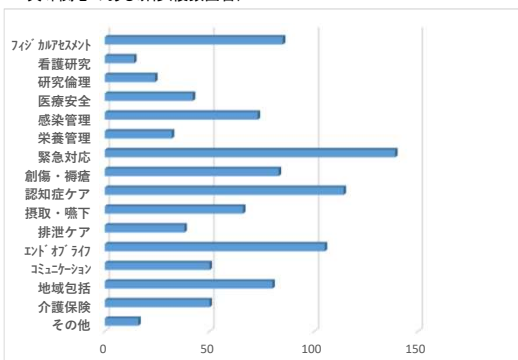
3. キャリアアップを目指す予定 n=345

・予定がある:9.6% ・予定がない:90.4%

4. キャリアアップのために具体的な計画 n=345

・ある:7.5% ・ない:92.5%

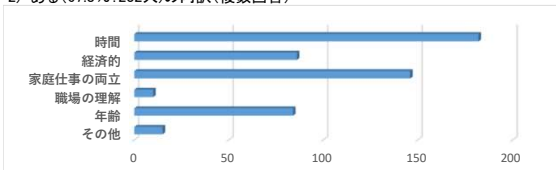
5. 興味関心のある研修(複数回答) n=348



6. キャリアアップを妨げている要因 n=342

1) ・ある:67.8% ・ない:32.2%

2) ある(67.8%:232人)の内訳(複数回答)



7. キャリアを積み上げることについての思い(自由記述)

1) ポジティブな思い

- ・学びたい対象が明確にある(大学院、認定看護師としてキャリアの促進、訪問看護に関する新しい知識など)
- ・キャリアアップのために知識を積み上げたい
- ・希望はあるが、私的な事情(子育てや家庭の事情)で今は困難
- ・希望はあるが、金銭面で困難
- ・希望はあるが、職場の事情(勤務の多忙さや課題の多さなど)で今は困難
- ・学習の必要性を忘れないようにしている

- ・コロナ禍が落ち着いたら考える など
- 2) 消極的な思い
- ・業務で精一杯で余裕や意欲がもてない
 - ・キャリア志向を削ぐ労働環境(業務量の多さ、職場の体制、職場の風土、キャリアが生かせない配置 など)がある
- 3) 客観的な意見
- ・管理者としてキャリアを活かせる環境整備をしたい
 - ・管理者として業務に支障があるため出せない
 - ・キャリアを意識せず現在持っている力を活かしていきたい
 - ・年齢的に力の限界があり、あきらめざるを得ない
 - ・キャリアアップのメリットを感じていない
 - ・キャリアアップの活かし方(時折職場の期待値が大きく負担感を抱く、立場により活かし方や質が違うなど)への疑問と葛藤
 - ・キャリアアップという概念への見解(自信になる、あこがれを抱く、モチベーションにつながる、専門看護師制度や認定看護師制度など学習できる時代背景がある)
- 4) その他
- ・「もっと勉強すればよかった」など自らの過去の学習姿勢への後悔
 - ・余暇は仕事以外のことに使いたい など